



文化学園大学
文化学園大学短期大学部

National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風を
おこそう

ALL.JP

アニメ制作と発表を通じて学ぶアニメータートレーニングの実践研修

アニメータートレーニングらぼ&文化学園 文化・住環境学研究所共催 アニメータートレーニング・フォーラム2019

アニメーション(アニメ)を見て楽しむだけでなく、学習やコミュニケーションのツールとして、身近な事柄やグローバルな課題を考え、話し合ったことをアニメーションで伝えようとする活動がデンマークやブラジルなどの小中学校でおこなわれています。デンマークではその取り組みを「アニメータートレーニング」とし、ひとりひとりの楽しい創造的空間「スペシャルワールド」を世界へ広げようとしています。

日本でも「アニメータートレーニング」をさまざまな学習や社会活動に取り入れる活動が始まりました。

文化学園 文化・住環境学研究所とアニメータートレーニングらぼは、デンマークのアニメータートレーニング・ラボ創設者ハンネ・パールセ氏とアニメーション上級講師インマ・カルペ氏、そして学校と連携した主体的なコミュニケーション力を引き出す教材「あくといと(ACT8)」開発者の松本くみ子氏を招き、日本に適したアニメータートレーニングを考え、普及を話し合うフォーラムを開催します。

日程 **2019年12月14日(土) 13時~18時**

会場 **文化学園大学 A館15階 A151教室**

新宿駅より徒歩7分

<https://bwu.bunka.ac.jp/>



対象 アニメータートレーニング実践を希望する指導者
教育や社会活動にアニメーション制作を導入する/導入を検討する指導者

教育や社会活動での主体的なコミュニケーション力向上を図る実践者や研究者

関係分野の学生、企業社員や公的機関・行政機関職員等

定員 50名(事前申込制/定員になり次第締め切ります)
残席あれば、当日受付も可能です。

費用 無料
終了後に懇親会(会費制)を予定しています。

内容 詳細はウェブページでご確認ください。

基調講演・事例研究

教育の場でのアニメータートレーニング

アニメーション・ワークショップ/VIA University College アニメータートレーニング・ラボ (Animated Learning Lab)

ディレクター ハンネ・パールセ氏

アニメーション上級講師兼研究員 インマ・カルペ氏



先行研究発表

教育普及活動でのアニメーションのワークショップ

文化学園大学造形学部

教授 昼間行雄、准教授 荒井知恵

「アニメータートレーニング2019としま」報告 気候変動とまちづくりを考えるワークショップ計画等

アニメータートレーニングらぼ 代表理事 伊藤裕美

ゲスト講演

学校と連携した、主体的なコミュニケーション力を引き出す教材「あくといと(ACT8)」の開発

あくといと代表 松本くみ子氏(臨床発達心理士・学校心理士)

ディスカッション(講師と参加者との自由討論)

主催 一般社団法人アニメータートレーニングらぼ

共催 学校法人文化学園 文化・住環境学研究所
(共同研究「アニメーション・ワークショップの実施環境と教材の研究」)

問い合わせ・申し込み先

<http://www.alljp.org>

<https://forms.gle/vSzU4cakKzs6QjoN7>



ゲスト講師

ハンネ・パールセン

アニメータートレーニング・ラボの創設者兼ディレクター。

1994年~2016年デンマークのアニメーション・ワークショップで、アニメーション教育センター副センター長、教育とアニメーションのセンター長などを歴任。

生涯教育の学習者が生き生きと能動的に講座や授業へ参加することを理想とし、長年にわたり理論的研究と実践的なメソッド開発を組み合わせ、多くの実績を残している。デンマークやスカンジナビア諸国のみならず、フィリピン、ポリビア、ペルー、アイルランド等でもワークショップを実践してきた。



インマ・カルペ

アニメータートレーニング・ラボのヴィジュアルアーティスト、アニメーション上級講師兼研究員。

アニメータートレーニング・ラボで10年近くアニメーションを指導し、日本、ペルー、アラブ首長国連邦などで短期ワークショップのアニメーション講師も務めてきた。

現在、ヴァレンシア工科大学とアニメーション・ワークショップの国際博士号課程で脳・神経科学とアニメータートレーニングとの相関関係を研究中。



松本くみ子

あくといと代表(臨床発達心理士・学校心理士)。

企業での勤務経験を経た後、再び大学に、そして更に大学院へと進み、心理学を専攻。

和洋女子大学や日本工業大学で非常勤講師として教鞭を執る傍ら、

心理士として保・小・中・高・特別支援学校・学童保育にて巡回相談員として子どもたちが生き生きと育つ関わり方について助言を行っている。数年前より保育園や学校と連携し、子どもたちの主体的なコミュニケーション力の向上を目指す教材「あくといと(ACT8)」の開発と実践をおこなっている。



学校法人文化学園 文化・住環境学研究所について
2003年(平成15年)に開設された文化・住環境学研究所では、「学内外の共同研究の推進」「体験型教育プログラムの開発」「研究所報の発行」を継続的に行っている。「体験型教育プログラムの開発では、文化学園大学の建学の精神である「新しい美と文化の創造」のために新しい造形教育方法を開発している。これは、実物を見たり、実際に触れたりすることのできる教材を開発し、これらの教材の教育効果について検証する研究である。これらの研究成果は、学内研究発表会等で成果の共有化を推進するとともに、隔年で発行する研究所報「しつらい」にも掲載し、広く社会に公表している。